

すべての子供に、笑顔と夢を。



夢を、貧困につぶさせない。
子供の未来応援国民運動

子供の貧困？ この日本で？

生まれ育った家庭やさまざまな事情から、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていない子供がいます。困難を抱える子供たちの環境は、コロナ禍でさらに厳しくなっています。

親が深夜まで働いているので、家に帰っても、誰もいない。放課後の居場所がない。

人とのつながりが少なく、社会的に孤立している。

児童養護施設を退所した後の生活基盤が不安定。

高校や大学、専門学校などに進学したいけれど、経済的理由であきらめている。

子供だけの時間が多く保健衛生などの知識や習慣が身につかない。

「頑張っても仕方がない」と将来への希望をなくし、学ぶ意欲をなくしている。

視野を広げる機会や文化的な体験に乏しく、「こんな人になりたい」というロールモデルがない。

栄養バランスのとれた食事は、一日の中で給食しかない。



それぞれの家庭にどんな事情があろうとも、生まれ育った環境によって子供の将来が閉ざされることがあってはなりません。

放っておくと、 どうなるの？



経済的な困窮にとどまらず、
さまざまな影響を及ぼします。

学習意欲の
低下

生活習慣や
健康管理に
影響

自己肯定感
の欠如

貧困の状況は次世代にも連鎖し、日本社会の担い手となる子供の健やかな成長を妨げ、労働力や市場の縮小、社会保障費の増加など社会的な損失につながります。

子供一人ひとりの将来と、日本の将来が閉ざされてしまう。



子供たちの未来を応援することは、
「未来への投資」です。

(注)日本財団と三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が2015年12月に発表した推計によると、15歳の子供について、貧困の状況にある子供の進学率や中退率などを改善させた場合と、現状を維持した場合では、生涯所得の合計額の差分2.9兆円および政府の財政負担の差分1.1兆円の社会的損失が発生するとされています。

国は対策を強化しています。

教育を支援

幼児期から高等教育まで教育費の負担を軽減



生活を支援

親の妊娠期から暮らしの課題・悩みを解決



保護者の就労を支援

ひとり親などの就労、学び直しや職業訓練を支援



経済的な支援

生活費や進学等に必要な支出を支援



2021年

- 地方自治体がNPO等に委託して行う子供の居場所づくりについて地域子供の未来応援交付金を拡充
- 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を支給

2020年

- コロナ禍を受け、様々な緊急支援を実施(ひとり親世帯臨時特別給付金、学生支援緊急給付金など)
- 高等教育の修学支援新制度の実施(授業料等減免制度の創設、給付型奨学金の支給拡充)
- 高等学校等就学支援金の拡充(私立高校授業料の実質無償化)

2019年

- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」改正(6月)
- 新たな「子供の貧困対策に関する大綱」策定(11月)
- 幼児教育・保育の無償化

2018年

- 生活保護世帯の子供に対する大学等進学支援(進学準備のための一時金創設など)
- 児童扶養手当の全部支給に係る所得制限限度額の引上げ

2017年

- 奨学金事業を充実[給付型奨学金制度の創設等]
- 児童養護施設等において22歳の年度末まで支援を実施[社会的養護自立支援事業] など

2016年

- ひとり親に対する現金給付(児童扶養手当)の多子加算額を倍増(第2子について36年ぶり、第3子以降について22年ぶり) など

2015年

- 地方自治体への交付金を創設[地域子供の未来応援交付金]
- 学習支援の開始[生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援事業] など

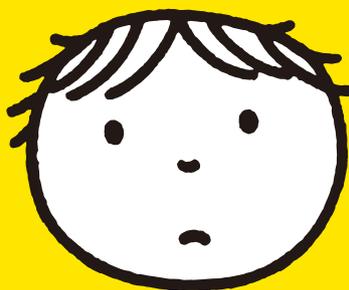
2014年

- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」施行(1月)
- 「子供の貧困対策に関する大綱」策定(8月)

しかし、子供の貧困は見えにくいのです。

子供・家族に貧困であるという自覚がないので、自分から支援を求めない。

貧困の自覚があっても、周囲の目を気にして表に出せない。



頼れる親戚も、近隣付き合いもなく、地域の目が届かない。

国や地方自治体の支援情報が届かず、社会的に孤立しやすい。

子供の未来応援国民運動で 支援の輪を広げています。

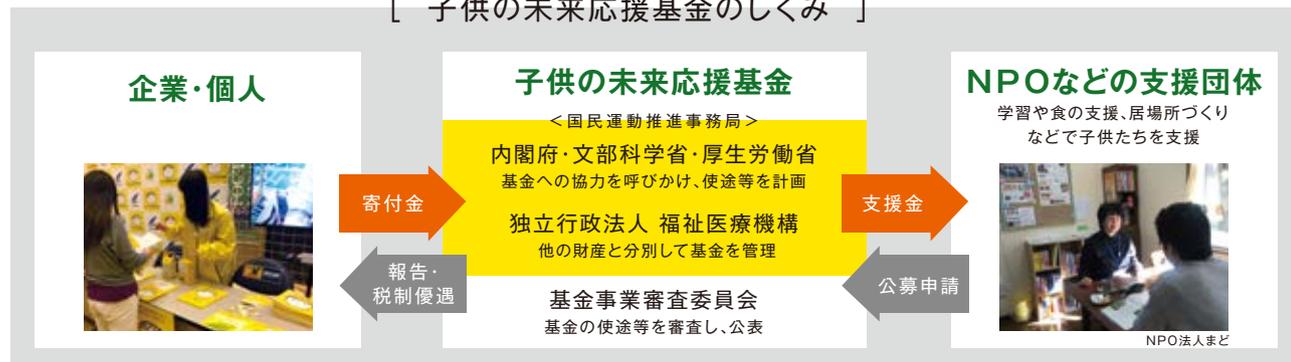


「子供たちのために何かしたい」という想いをを持った人々と
草の根で子供たちを支援しているNPOなどの団体を結ぶ取組として、
「子供の未来応援基金」(P.5)と「マッチング事業」(P.19)があります。

子供の未来応援基金の創設、活用へ。

国の対策を充実強化するとともに、地域密着の草の根支援などに柔軟に対応する基金を創設し、企業や個人から広く寄付を募り、子供たちへの支援を行う団体の活動資金として活用しています。

[子供の未来応援基金のしくみ]



未来応援ネットワーク事業



「支援先をどのように選べばよいかわからない」「全国展開する企業として、地域の偏りなく支援したい」など、皆様が感じている課題に対応し、さまざまな活動を実施する支援団体の審査、選定から事後評価、成果に関する情報発信などをしっかり行います。

2015年
4月

子供の未来応援国民運動 発起人集会

関係閣僚や経済界、教育・福祉関係者などさまざまな分野から発起人が集い、民間資金による基金創設を検討することなどを決定しました。



発起人集会で挨拶をする安倍総理(当時)



10月

子供の未来応援基金 創設

子供の未来応援国民運動の一環として、寄付を募る活動を始めました。

2016年
7月～

未来応援ネットワーク事業の支援団体を 年1回、全国から公募

基金事業審査委員会で決定



子供の未来応援基金事業審査委員会 (2020年12月4日現在)

小川 晶子 ライオンズクラブ国際協会日本ライオンズ大学校幹事
菊池 まゆみ 藤里町社会福祉協議会会長
草間 吉夫 茨城キリスト教大学非常勤講師
小山 遊子 株式会社イトーヨーカ堂経営企画室 CSR・SDGs推進部総括マネジャー
本田 和彦 横浜市子ども青少年局総務部長
西田 進 一般財団法人アズビル山武財団専務理事
宮本 みち子 放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
室田 信一 東京都立大学人文社会学部人間社会学科准教授



第5回公募用チラシ

基金への協力企業や有識者などで構成。計画性、連携、広報、継続性などを審査。

基金を活用して、支援団体が1年間活動

	活動期間	応募数	採択数
第1回支援団体	2016年10月～2017年9月	535団体	86団体
第2回支援団体	2018年4月～2019年3月	352団体	79団体
第3回支援団体	2019年4月～2020年3月	358団体	71団体
第4回支援団体	2020年4月～2021年3月	352団体	97団体
第5回支援団体	2021年4月～2022年3月	327団体	96団体

基金への寄付総額は累計約14.3億円(2021年2月末現在)

2020年の動き

● 天皇陛下より御下賜金

4月 2019年の天皇陛下御即位に際し、天皇陛下から金5,000万円が下賜(かし)されました。

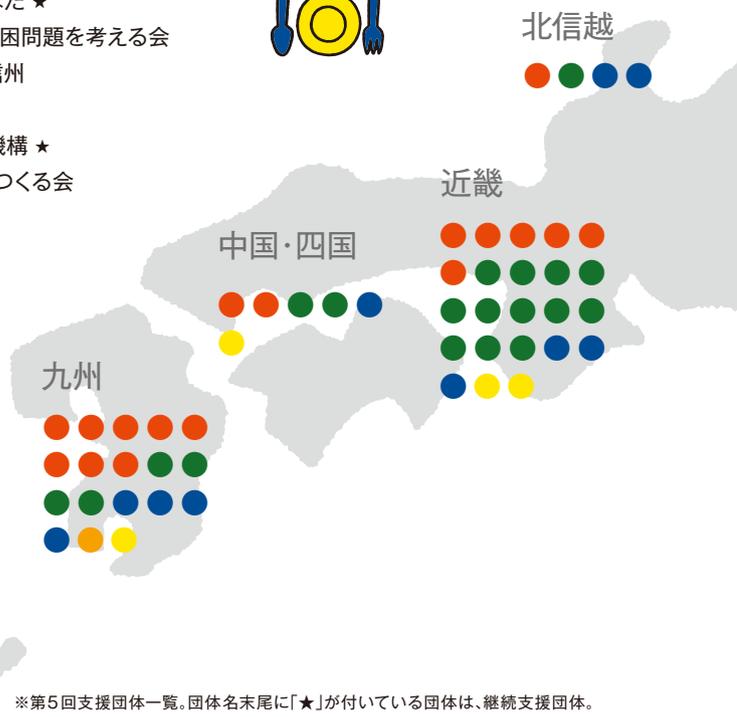
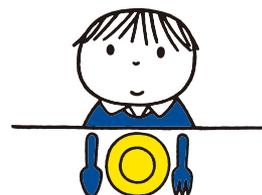
● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急支援

7月 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた緊急支援を行えるようにするため、支援団体20団体に合計約5,300万円の支援金を交付しました。

9月 第4回支援団体のうち10団体に対し、357万9千円の支援金を追加交付しました。

基金の支援を受けて、 全国各地のNPOなどが活動中！！

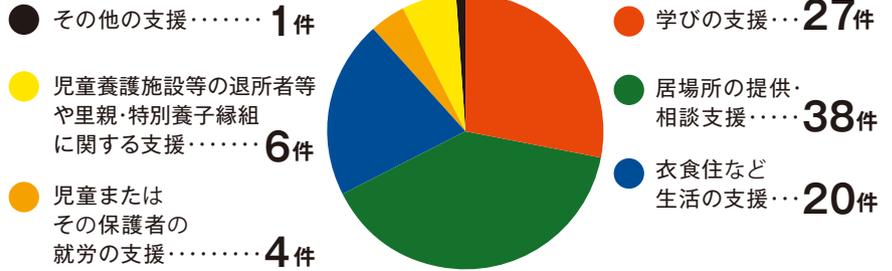
- | | | | | | |
|-----|--|------|--|-----|---------------------------------------|
| 北海道 | ● m4Lab
● 北見NPOサポートセンター★
● さっぽろ青少年女性活動協会
● フードバンクイコロさっぽろ★
● ゆめみ〜る | 東京都 | ● 英会話同好会fromOTA
● きもの笑福★
● サンカクシャ★
● 全国子ども食堂支援センター・むすびえ★
● TEAM
● なないろ
● フードバンク調布★ | 愛知県 | ● とまと食堂
● なごやかサポートみらい |
| 青森県 | ● 子ども食堂すこやかプロジェクト★
● ブラシア | 神奈川県 | ● アートスペース「と」関内
● まちのかぜ | 滋賀県 | ● Take-Liaison★
● ボランティアグループ「たんぼぼ」 |
| 岩手県 | ● ミンナソラノシタ | 新潟県 | ● 子どもみらい食堂
● フードバンクしばた★ | 京都府 | ● アガペー★ |
| 宮城県 | ● 石巻復興支援ネットワーク | 山梨県 | ● 子ども・教育と貧困問題を考える会 | | |
| 山形県 | ● はなみずきの会
● 福祉サポートセンター山形
● プチユニテッドアスリートクラブ | 長野県 | ● ダイバーシティ信州 | | |
| 福島県 | ● つなぐ舎★
● 寺子屋キッズ21・しゅくだいカフェ
● NEXTしらかわ
● 福島就労支援センター★ | 岐阜県 | ● あしたの支援室
● 教育・地域交流機構★
● みんなの未来をつくる会 | | |
| 栃木県 | ● 子ども食堂「みんなでごはん・Kiitos」 | | | | |
| 群馬県 | ● みんなのおうえん団★ | | | | |
| 埼玉県 | ● カイロス
● すくすく広場
● ハビママメーカープロジェクト(東京都)
● FUTUREDESIGN(神奈川県)
● 宮代町家庭教育支援チーム
● みんなの食堂Flat
● wakka | | | | |
| 千葉県 | ● 子供プラス未来(東京都)
● せんなり村 | | | | |
| 東京都 | ● あだち子ども支援ネット★
● あったかキッチン水元★
● アフォール★
● ウイズアイ★ | | | | |



※第5回支援団体一覧。団体名末尾に「★」が付いている団体は、継続支援団体。

※団体所在地が主たる活動地と異なる団体については、括弧内に団体所在地を記載。

さまざまな分野の 96団体を支援



北海道・東北

北海道・東北



関東



東海



- | | | | |
|------|-------------------------|------|-------------------------|
| 大阪府 | ● 大阪市よさみ人権協会 ★ | 岡山県 | ● わしがやらねば |
| | ● ココまな | 広島県 | ● どりいむスイッチ ★ |
| | ● こども食堂「にじっこ」 | | ● 無料塾寺子屋「夢」 |
| | ● 住吉隣保事業推進協会 | 香川県 | ● まんまるサポート |
| | ● にぎわい夢創りプロジェクト | 福岡県 | ● あーすちゃれんじやー |
| | ● 日本国際育成支援機構 ★ | | ● さわら子どもひろば |
| | ● ひとつとつむぐ | | ● Smileネットワーク北九州 |
| | ● ヒューマンワークアソシエーション ★ | | ● フードバンク福岡 ★ |
| | ● HOMEステーション ★ | | ● 福岡教育サポート |
| | ● ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝 ★ | 佐賀県 | ● さくらんぼ教室 |
| | ● yucoco | 長崎県 | ● バスターミナル学習室 ★ |
| 兵庫県 | ● 神戸市職員有志 ★ | 熊本県 | ● いこいスペース∞こあまるちゃん家 ★ |
| | ● 兵庫子ども支援団体 | | ● 熊本私学教育支援事業団 |
| 奈良県 | ● あつあつごはんを食べる会 ★ | | ● こどもキッチンブルービー ★ |
| | ● 大宮地区社会福祉協議会 ★ | | ● 山鹿こども食堂百華 |
| | ● 青少年の自立を支える奈良の会 | | ● OneField ★ |
| | ● せいじゅんたすけあいこども食堂 ★ | 大分県 | ● 一緒に歩こう会居場所サロンわかばハウス ★ |
| 和歌山県 | ● フードバンク和歌山 ★ | | ● きたく部 |
| | ● 子どもの生活支援ネットワークこ・はうす ★ | | ● キャリアサポート ★ |
| | ● はっしゅえがおサポート ★ | | ● まど ★ |
| 鳥取県 | ● 子ども食堂「ネバーランド」★ | 宮崎県 | ● みやざき公共・協働研究会 ★ |
| 島根県 | ● フードバンクしまねあったか元気便 ★ | 鹿児島県 | ● 親子ネットワークがじゅまるの家 |

子供たちの笑顔が生まれています。

学びの支援 …… 学習環境の確保、学ぶ意欲や学力の向上など

【熊本県】 熊本私学教育支援事業団

不登校、引きこもり、生活困窮など困難を抱える子供たちに対し、地域に密着した学習支援を展開し、安心して学べ、安心して過ごせる場所を提供する。

- ・学習支援:熊本市内5カ所
- ・家庭訪問による教育相談、学習支援:週2回
- ・コロナ禍を踏まえたオンラインによる個別学習支援

利用者の声 /

自分の力で勉強できるようになりました。ここまで支えてくれてありがとうございます。

先生たちのおしゃべりやキャンプなど“普通のこと”が大事に思えました。



居場所の提供・相談支援 …… 社会的孤立の解消など

【福島県】 つなぐ舎

コロナ禍で不安定な生活が続く中、子供たちが地域の人々とつながり、安心して過ごせる居場所づくりを実施。

- ・無料の子供食堂(お弁当配布も含む):週2回
- ・季節のイベント:年5回
- ・プログラミング教室の開催:年20回程度
- ・農業・自然観察体験教室、映画上映会の開催

利用者の声 /

みんなといっしょにお料理をしたり、お弁当を食べたりするのがとっても楽しいです。

親としても、子供が安心して過ごすことができる場所が近くにあるということは、心強いです。



衣食住など生活の支援 …… 栄養ある食事の確保や正しい生活習慣の習得など

【島根県】 フードバンクしまねあったか元気便

小・中学校の就学援助世帯に食を支援。体験イベントなどを通じて交流することで、家庭と子供たちの孤立を防ぎ、さまざまなサポートにつなげる。

- ・フードバンク(※1):給食のない期間(7~8月、12月、3月)
- ・フードドライブ(※2):50~80カ所年で年4回実施
- ・「農耕体験」の集い(お米づくりと食事交流):年2回

利用者の声 /

母子2人暮らしですが、夜遅くまで仕事なので、ご飯を作る時間も買い物する時間もなく、「あったか元気便」を利用させていただいて、とても助けていただきました。



※1 フードバンク…品質に問題はないが余っている食品等を、必要としている団体や生活困窮家庭に無償で届ける活動

※2 フードドライブ…施設やフードバンクなどに寄付するために、品質に問題はないが余っている食品等を持ち寄る活動

支援対象となる団体

公益法人、一般法人、NPO法人(特定非営利活動法人)、その他ボランティア団体、町内会など非営利かつ公益に資する活動を行う法人または任意団体

児童またはその保護者の就労の支援 …… 就労率の向上や安定した収入の確保など

[東京都] ウイズアイ

生活困窮家庭やひとり親家庭等を対象に、多様な預かり保育を提供することで、親の育児負担を軽減し、仕事や学業の継続を支援。

- ・病後児保育や保育園の休園日の一時保育、夜勤時間のお泊り保育を実施
- ・平日の一時保育を低価格で提供

＼ 利用者の声 /

保育園が開いていない休日や夜間に子供を預かっていただけるので、働き続けることができています。仕事が終わり、夜中に迎えに行くと「お帰りなさい」と温かく声をかけてくださり、自宅のようにほっとします。



児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援

…… 同施設退所者の生活基盤の確立、里親委託率の向上など

[奈良県] 青少年の自立を支える奈良の会

児童養護施設等の退所後に、不安定な生活を送る子供たちに、関係機関と連携したアフターケア事業を実施。支援を通して子供たちの社会参加の「出番」をつくる。

- ・定期訪問、食料提供、行政窓口同行などのアウトリーチ活動
- ・一時的な住居提供やシェアハウスの家賃補助

＼ 利用者の声 /

父親からの性的虐待を母親や周囲からは「なかったこと」にされました。ここに来て気持ちをきちんと伝えることができ、やっと自立に向けて一人暮らしを始めることができました。



緊急支援 学びの支援 …… 学習環境の確保、学ぶ意欲や学力の向上など

[大阪府] タウンスペースWAKWAK

コロナ禍でオンライン形式と対面形式の併用による個別対応の学習支援を行うほか、フードパントリー^(※3)を実施。また、制度が届きづらい層への伴走支援として、要支援家庭へのチラシ配布等を実施。

- ・学習支援:週2回
- ・フードパントリー:週1回

＼ 利用者の声 /

いろんな人たちにやさしくしてもらい、この校区に引っ越してきてよかった。

困ったときにここに相談すればいいと思える場所があるのでホッとしています。



※3 フードパントリー…品質に問題はないが余っている食品等を保管し、生活困窮家庭の方々に取りにきてもらい、無償で配布する活動